

<b>2015-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES)		
<b>英文名称</b>	Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services		
<b>種 別</b>	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 <b>その他</b>
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 環境省自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
事務局所在地: ボン(ドイツ)、加盟国数: 124カ国(平成28年10月現在) 概要: 生物多様性及び生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する政府間プラットフォームとして、2012年4月に設立された政府間組織。科学的評価、能力開発、知見生成、政策立案支援の4つの機能を柱とする。2014年度より日本の公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)にアジア太平洋地域のアセスメントを行う技術サポートユニット(TSU)が設置されている。			
<b>【当該国際機関の財政(2015年予算)】(千米ドル)</b> <span style="float: right;">出典:【注1】</span>			
当該年度の総収入額: 9,526			
当該年度の総支出額: 7,857			
次年度への繰越額: 1,669			
会計検査機関名: - (現在の構成員の出身国: )			
<b>【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等(2015年のもの)】</b> <span style="float: right;">出典:【注1】</span>			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%) (注)
1位	ドイツ	1,582	50
2位	米国	477	15
3位	日本	300	9
4位	スウェーデン	128	4
5位	マレーシア	100	3
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等(2015年のもの)】</b>			
	国 名	金額(千単位・通貨)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員(事務局本部のデータ)】</b>			
邦人職員数	0人	当該機関全体の職員数	9人
うち幹部以上	うち0人	及び邦人職員が占める率	0%
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考	
<b>【注: 当該国際機関の会計年度】</b>			
・当該国際機関の会計年度は毎年1月から12月末までとなっている。したがって、我が国(及び他の加盟国)とは会計年度が異なっているため、拠出率の扱い等については暦年となっている。 <b>【注1】</b> 当該機関の報告書「Budget and expenditure for 2014-2018」による。 なお、日本は、「任意拠出金の拠出上位5ヶ国等」に記載の額以外に、日本に設置された技術支援ユニット(TSU)へ16,900千円を拠出			